

## 目標達成計画

事業所名：グループホーム生きがい

作成日：平成 25年 3月 18日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催案内文書にも議題の明示を行ったり、終了後、課題や議論の結果を関係者と共有するため、会議録を玄関に設置するだけでなく家族にも送付する等の開示の工夫を期待する。	運営推進会議の議論や課題の結果はご家族様にも開示し情報の共有を出来るようになっていきます。	運営推進会議の議事録は面会時を利用したり、郵送するなどして情報を共有出来るよう取り組んでいきます。	平成 25年度中
2	33	入居時に協力病院等について説明を行い、退去が必要な場合の事業所の方針を説明している。しかし、文書化した指針等がないため、事業所での考えや、どのような連携が可能なのかなど指針を作成し、家族等との共有を行うことが期待される。	重度化や終末期についての、ホームの方針を文書化し、よりわかりやすくご家族様などに伝え、共有していきます。	重度化や終末期を迎えた場合の対応について明確にし、方針などの文書化に取り組んでいきます。	平成 25年度中
3	35	施設の立地条件を踏まえ、既存のシナリオ通りの訓練ではなく、管理者と法人が協力して危機管理的観点からより現実的・具体的な想定を行うことを期待する。また、緊急避難場所を家族にも周知する事や、救援が来るまでの備蓄にも配慮することを期待する。	実際の災害時にも確実な避難誘導が出来るように、現実的・具体的な想定で行っていきます。また、緊急避難場所をご家族様にお知らせし災害時の備蓄もより充実させます。	管理者と法人間で災害時の対策に関する話し合いの場を設け、より実践的な訓練が行えるよう取り組んでいきます。またご家族様にも緊急避難場所を郵送にてお知らせし周知を図ります。	平成 25年度中
4	49	玄関の施錠を行わないための検討とともに、外気浴や畑に出掛ける等閉じこもりがちなならないよう取り組んでいる。しかし、もっと外出機会を増やしたいという職員の思いを実現するため、家族や関係機関あるいはボランティア等の協力を得、出来る限り利用者の外出が出来るようより一層工夫すること期待する。	ご利用者様の意向に沿いながら外出できる機会を持てるようにしていきます。	まずは、少人数での外出機会を増やせるように周りの協力を得るよう取り組んでいきます。	平成 25年度中
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。